

公演を彩る最高の音色をお届け♪



稲穂の絨毯が黄金色に輝く季節になりました。今にも動き出しそうな案山子にびっくりするところもあるでしょう？秋の夜長は虫たちのオーケストラに耳を傾け、読書をするのもいいですね。今回は、みの〜れ住民劇団演劇ファミリーMyuのスタッフで音楽を担当している水戸市にお住いの豊田里実さん取材します。

演劇ファミリー Myu 音楽担当

とよた さとみ
豊田里実さん

「みの〜れは通うたびに
楽しくなる場所ですね」
と笑顔で話す豊田さん。

みの〜れと共に生活するスタイル

Minole Life
のすすめ

No.87

偶然が重なって今の 関わりがある!!

茨城町出身で水戸市にお住まいの豊田さんは演劇ファミリーMyuで音楽を担当されていた島井伸子さんの紹介で、前作から音楽制作に関わっている。

「たくさん偶然が重なって、今Myuの音楽制作に関わらせてもらっています。昔から知り合いではあったのですが、元同僚が偶然島井さんと同じ職場になったのが1つ目の偶然。みの〜れで活躍されているのは話には聞いていたのですが、昨年『ここで逢えたら…vol.4』の公演のことを聞いて「ピッと来たんですよ!」公演の情報を調べたら、そこに島井さんが出演することを知ったのが2つ目の偶然。その公演を見に行ったのがきっかけで、それからコンタクトをとるようになり「また」と偶然の再会を懐かしそうに話す豊田さん。

4歳からずっとエレクトーンを習い、ヤマハの講師をしている豊田さんにとって音楽は常に身近にあるものだったそうです。活動の幅を広げて数年前に栃木県

真岡市のミュージカル講師養成講座で1年間音楽を学んだ豊田さんは、「こういう経験もしたんだよ!逢うべくして逢ったんだね」と島井さんと再会を喜び、それからMyuの音楽に携わるようになり「学生の頃は勉強が大嫌いだっただんで(笑)。今はパソコンで音楽を作成できるのですが、数年もたつとパソコンと同じでどんどん進化するんですよ。それを勉強するようになって自分の興味があることは楽しいなって思えて、ますますミュージカルが楽しくなりました。」

豊田さんの趣味は旅行に行くこと。「飛行機に乗るのも、見るのも好きなんですよ。あのワクワク感が何とも言えないですね。最近では茨城空港から福岡に飛びました。空港に到着してから飛び立つまでがすごく早くて、とても良かったですよ。近くに住んでいて使わない手はないです」と嬉しそうに話してくれました。

10月5日公演の『黄色い袋と魔法のトンネル』では音楽を担当する豊田さんは「制作しているのマジックな方に走りたくなくなってしまっんですね。脚本に合わせるここは子どもが出てくる場面だから、動いている感じにしようとか、大人っぽい雰囲気のもの

だからジャジーな感じにしようかなって思いを巡らせています」とワクワクとした表情を見せてくれました。

「Myuのいいところは、セリフの長さや、動きの場面に合わせて曲が生まれてくることです。だから本番直前まで曲が変わっていくんです。それで、本番には一番いい曲に仕上がるんです。これから本番にむけて、時間との闘いですね。これでよしっていうラインはない。テーマソングは看板みたいな物で一番最初に作るのだから入りましたね。てっちゃん(作曲:太田剛さん)、ジョンニー(作詞:新井良和さん)、私の連携プレイで3人の知恵がぐっと詰まったテーマソングが出来ました。そこにキャストの声がある。歌が入ったらもっと素敵になりました。」と公演に向けての意気込みを話してくれました。

『黄色い袋と魔法のトンネル』はキャストやスタッフの思いが沢山詰まった作品です。舞台上で活躍するキャストはもちろんのこと、素晴らしい歌声や音楽にも耳を傾けて下さいね。

(藤田佐知子)